

平成 2 5 年度第 1 回丹波市入札監視委員会議事概要

開催日及び場所		平成 2 5 年 8 月 6 日（火） 関西学院大学大阪梅田キャンパス会議室		
出席者	委員	石原 俊彦 （関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科教授） 大西 裕 （神戸大学大学院法学研究科教授） 古賀 徹 （弁護士） 安藤 幹根 （公認会計士）		
	事務局	鬼頭副市長 足立技監 山中財務部長 中野事業監理課長 三方監理係長 村上主幹		
	説明者	義積都市住宅課長 中尾主査 農林整備課高見係長 下水道課塩見主幹 水道部工務課山内主査 三原主査 畑建設課長 太田環境整備課長 岸本主幹 田村学校給食科長 介護保険課岡崎係長		
内容	1 報告	①平成24年度第2回委員会での指摘事項について ②入札・契約制度の改正について ③水道部職員の不正事務処理事案について		
	2 議事 (1)平成24年度下半期入札・契約状況の報告 対象期間 平成24年10月1日～平成25年3月31日	(建設工事)入札：103件 落札率：84.8% 契約金額合計：1,403,242千円 (業務委託)入札：58件 落札率：66.1% 契約金額合計：275,794千円 (物品購入)入札：14件 落札率：65.5% 契約金額合計：23,591千円 (随意契約)件数：63件 契約金額合計：5,212,842千円 指名停止：1件		
	(2)抽出事案に係る入札及び契約手続き等の審議 対象期間 平成24年10月1日～平成25年3月31日	抽出件数：10件 (内訳) 一般競争入札：4件 指名競争入札：2件 随意契約：4件		
	3 その他	任期満了につき次期については後日調整を行う		
委員からの質問・意見それに対する回答等		質問・意見		回答
		別紙 1 （1～3 ページ）		別紙 1 （1～3 ページ）
委員会による意見の具申又は勧告（講評）		別紙 2		

質問・意見	回答
1 報告 - 入札コストと公平性について方針等まとめること - 予算編成において前年度実績との関連について考えをまとめること - 水道部職員の不正事務処理事案の報告	「電話での市税納付勧奨のための人材派遣」に係る調達コストの検討を行い、入札による契約の妥当性を確認した。 - 公正な積算体系による予定価格を確保する必要があるため、実績によるものでなく積算による予算計上を行うことが適当と判断している。
2 平成24年度下半期入札契約状況等	質疑、意見等なし。
3 抽出事案に係る入札契約手続き等の審議 今回の事案抽出の考え方 落札率が90%を超えるものの内、金額の大きいものから抽出を行った。	
(1)制限付一般競争入札 市内3駅トイレ水洗化等改修工事 - 再入札を行った結果、1者のみが予定価格内であったことについて、予定価格が低すぎたのではないかと。 - J Rがやってくれないのですか。	- 予定価格は、設計額に基づいて決定しております。また、工事に使用する資機材等の見積もりにおいて、逓減率の考え方に若干の違いがあることも考えられる。 - 利用促進のため、環境面を配慮して市で行った。
(2)制限付一般競争入札 (仮称) 野上野交流施設建築工事 3者が失格していますが、事例として多いのですか。	工事に使用する資機材の見積もりにおいて、逓減率の考え方に違いが出ることでより入札価格に開きが出ている。案件によって失格者が多い場合もあり3者が少ない事でもなく多い事もない。
(3)制限付一般競争入札 下水道集中管理装置設置工事(柏原・春日地域) - 応札者が1者になった理由は。 - 残る10箇所程度の工事について、形ばかりの一般競争入札でなく、随契で契約するとか予定価格等を考慮し、少しでも節約できるように考えていくべきではないか。	公平性を保つため入札を行っているが、工事内容として既設のサーバーに接続していくことから情報処理方式が特定の業者にしかできないと判断されることから1者の入札となったと想定される。しかしながら、新たなシステムを構築することにより新たな業者も参加できるよう設定している。

質問・意見	回答
(4) 制限付き一般競争入札 新才地内他配水管布設工事（1 工区） ・ 最低制限価格の末尾4000円は必要なのではないでしょうか。 ・ 入札を辞退している業者があるがどうか。	・ 従来から最低制限価格については千円単位で設定しておりまして、考え方を変えるととなりますと問題が生じますので何らかの方針を示したうえで変える必要がある。 ・ 辞退届を提出してもらっていますが、その中で理由として、担当する技術者がいないとか会社の都合といった内容になっている。
(5) 指名競争入札 市道特 1 5 号線関連道路詳細設計業務 ・ 予定価格付近に集中した入札になっていることについて	・ 業者の積算精度が高いため集中した形になっている。
(6) 指名競争入札 丹波市立青垣総合運動公園水泳教室等管理運営業務 ・ 紙入札の意図は。	・ この業種については、電子入札の登録がされていない業者があるため紙入札を選択した。
(7) 随意契約 平成 2 4 年度定期修繕工事 ・ 仕様書から予定価格を算出できるようになっているのか。	・ 全国都市清掃会議の積算要領及びメーカーの見積もりを基に査定して、適正な価格の維持を確保している。
(8) 随意契約 （仮称）丹波市クリーンセンター建設工事 ・ J Vであればプラントが完成した後、責任はどうか。 ・ プロポーザル設置要綱から全て市の役職の方で構成されていますが、外部の技術的な専門家は入らないのか。	・ 川崎技研がプラントメーカーでありますので、企業代表という意味で最終的な責任を取ってもらう。 ・ 審査委員会の下に選定部会を設けていまして、担当部長のほかに 4 名の有識者を交えた中で、専門的な判断を行っている。

質問・意見	回答
(9)随意契約 丹波市立柏原・氷上学校給食センター調理等業務 ・ プロポーザルでの選定方法は。	・ 9つの項目について点数配分を行い、一つの項目に5点から1点の評価を行う。また、プレゼンの前に見方のレベルを統一するため、研修を行った。
(10)随意契約 介護保険事務処理システム及び介護認定審査会システム機能改修工事 ・ この業者に委託するほかはないのですか。	・ このシステムは、この会社が開発して運用しているところから、この業者以外には委託するところがない。

別紙 4

委員会による意見の具申又は勧告（講評）

1. 今回の事案抽出の考え方

- ・ 落札率が90%を超えるものの内、金額の大きいものを基準に10件を抽出

2. 総括

- ・ 平成24年度下半期（平成24年10月1日～平成25年3月31日）の入札・契約のうち抽出された10件の事案については、規則・基準等に基づき適正に執行されていると思われ、不適切な行為があったと明確に言えるものはなかった。

3. 今回の指摘事項

①プロポーザルについて

- ・ プロポーザルによる契約においての実施規則等の制定の検討